



◆「国際的な環境情報の共有」

オーガナイザー：中野武(大阪大学環境安全研究管理センター)、梶原夏子(国立環境研究所)、高下栄子(国連大学)

日時：5月23日(水) 18:00~20:30 会場は当日お知らせ致します。

概要：海外の研究者から、世界各地の環境の状況を報告していただきます。学生、若手研究者、留学生の皆さん、英語で自分の研究を紹介してみませんか？いきなり、国際会議では、ハードルが高いと思われるあなたも、参加してみませんか？発表時間は3分以内、パワーポイント、スライド3枚で皆さんの研究のエッセンスを紹介してください。5月21日までに、中野宛 (ntakeshi@jrl.eng.osaka-u.ac.jp) に、スライド3枚を送付ください。この自由集会を手伝ってみようという方も歓迎です。その旨お知らせください。



◆「水質検査の将来のあり方について考える(その2)」

オーガナイザー：小林憲弘(国立医薬品食品衛生研究所)、高木総吉(大阪健康安全基盤研究所)、宮脇崇(福岡県保健環境研究所)

日時：5月23日(水) 18:00~20:30 会場は当日お知らせ致します。

概要：昨年に引き続いて、水質検査の現状の課題と将来のあり方について考え、水質検査に関係する全ての方々(行政機関、検査機関、研究機関、民間企業等)が、水道水の安全性を確保するために何ができるか、何をすべきかについて議論したいと思います。特に今回は、基準項目以外の未規制物質の存在実態を把握するために、オーガナイザーらが開発している水質スクリーニング分析法の検討状況についてご紹介するとともに、将来的な水質検査への適用についても議論したいと思います。



◆「論文執筆の基本とノウハウ、編集部からの助言」

Tips for preparing your manuscript: Basics, Know-Hows and advices from the Office

日時：5月23日(水) 18:00~19:00 会場は当日お知らせ致します。

講演者：英国王立化学会(RSC)日本マネージャー 浦上裕光

概要：出版社の役割とはどのようなものなのでしょうか？論文は投稿されてからどのようなプロセスを経て出版されるのでしょうか？この講演では出版業界の背景、出版社・編集部の役割、査読プロセス、出版統計、ビブリオメトリクス(指標)の基礎から論文原稿作成時に考慮すべき点まで幅広く紹介させていただきます。本講演を通し学生、研究者の方々が少しでも出版業界、またその現状に関しご理解を深めて頂ければ嬉しく思います。

